

「生命だけは平等だ、を基本理念とし、
「生命を安心して預けられる病院」
「健康と生活を守る病院」を目指します

Tateyama Hospital Magazine

Contents

Cover 新年のごあいさつ 館山病院 院長・副院長・看護部長 ②③新年のごあいさつ/タメガNEWS ④ばんぶーはうす写真倶楽部連載「ぜいごっぺ」/information



新年のごあいさつ

迎春



館山病院 院長
竹内 信一

新年明けましておめでとうございます。

昨年は元号が「平成」から「令和」となり、新天皇が即位し新たな門出となった年でしたが、9月、10月の台風15号、19号による大規模停電や広域な河川氾濫、さらに追い打ちをかけるように再度被災地を襲った台風21号による豪雨災害と自然の猛威にさらされた1年でした。安房地域も例外ではなく、当院職員の罹災者も少なくありませんでした。罹災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。一方館山病院について1年を振り返ってみますと、日本医療機能評価機構による認証、新病院基本設計の完了、医療法人沖繩徳洲会への合併と新たな一歩を踏み出す年でした。三段跳びに例えれば、昨年はホップの年、今年はステップの年で新病院建設の着工、そしてその先にある2022年の新病院竣工という大事業のジャンプに向けて職員一同で邁進する1年となります。皆で頑張っていきましょう。



館山病院 副院長
佐藤 猛

皆様 本年もよろしくお願いいたします。

昨年を振り返り思うことを話します。まず初めは、病院機能評価の認証を受けられたことです。それにより多職種間での話し合いが少しずつ行われるようになり、例を挙げると、緩和ケアチーム(内科医師・精神科医師・薬剤師・認定看護師・訪問看護師・MSWの参加によるチーム編成)で癌患者を含む疼痛患者のサポートなど、少しずつではありますが活動することができました。次は、新病院建設の設計図が完成し、次のステップに進み、今年5月には着工予定となったことです。設計図案作りの際には、各部署が自分の職場に責任を持ち働きやすい場所を作ること、また、職員ひとり一人が、どのような病院を作ることが地域の皆様に貢献できる病院となるかを一緒に考えました。このように、新しい目標に向け職員が一丸となって成し遂げることは、今後いかなる問題が起きようとも乗り越えられるという自信に繋がりました。来年に向けて病院機能評価については、引き続き A評価になるように改善する取り組みを継続していきます。新病院については、地域から信頼される病院を目指して、地域の皆様が納得していただける病院を築きたいと思っています。最後に、今後この地域では高齢者が特に多くなるため、多職種間でACP(愛称・人生会議)について、本人やご家族と話し合う場面を持つことが必要と思われる。健康なうちに、このテーマを意識できるよう職員全体で医療活動していきたいと思っています。



館山病院 看護部長
辰澤 智恵

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましてはさわやかな新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年は、職員で力をあわせて日本医療機能評価機構の病院機能評価(3rdG・Ver2.0)を受審し、認定を取得することができました。また、新病院の基本設計も建築事務所の方と数回のヒヤリングを重ね完成させることができ、記念すべき年だったと思います。しかし、館山市にとっては、台風による自然災害にみまわれた大変な年でした。当院職員のなかにも家の被害に遭ったり、停電・断水が続く職員もいました。そんな中、TMAT(徳洲会医療救援隊)の支援と徳洲会グループである千葉西総合病院・千葉徳洲会病院・羽生総合病院・古河総合病院より7名の看護師の応援をいただき、患者様を受け入れる使命を果たすことができました。昨年は、グループ病院である強みを実感した年でした。心より、感謝を申し上げます。今年も、グループ病院である強みを活用し、視野を広げ、地域に貢献できるように邁進していきたいと思っています。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



館山病院 脳神経外科
菅沼 康雄

新年おめでとうございます。

館山病院を利用してくださる患者様が生活をする安房地域は、昨年秋の台風により、甚大な被害を蒙り、まだ大多数の方が再建途上で居られます。今年、令和2年がよい年であるよう深く祈念いたします。回復期リハビリテーション病棟では、脳卒中や大腿骨頸部骨折などで生命の危機を脱した時、必要とされる医学的、心理的、社会サポートを提供し、心身の回復とともに、退院後のよりよい生活をスタートしていただくことを目標にしています。リハビリテーションは、年々技術的、学問的に進歩しています。また行政の方針も厳しく変化しています。益々、努力、勉強をして、悪路、難路を前に進んでいきたいと思ひます。本年もよろしくお願い申し上げます。



館山病院 内科部長
杉村 大作

明けましておめでとうございます。新年のあいさつをさせていただきます。

昨年は台風、台風で大変な1年でした。被災された方達も多いと思ひますが、私の家も半壊となり現在もまだ修理待ちの状態です。思いもよらない天変地異が起こり得ることを深く実感させられた年でした。医療現場でも同じことがあり、何の前触れもなく大病が襲い掛かってくる。それは癌であったり、脳出血であったり様々な疾患です。突然でどうしてよいかわからず、茫然自失となる状況。台風と同じ他人ごとではなく、自分に起こること。今回の台風で誰にでも起こることなのだと感じました。それに対処するにはやはり準備。台風であれば屋根や壁の補修や補強をして台風に備えるように、病に対しても同じことが必要だと思ひます。病氣にならないように、かからないように備えていくことが肝心だと思ひます。今年も未来に備えて準備を始め、少しでも長く健康な生活を送るための備えの年にしていただきたいと思います。今年もよろしくお願い申し上げます。



館山病院 内科
能重 美穂

あけましておめでとうございます。

今年も地域の皆様のニーズに沿った医療を提供できるよう励んで参りたいと思っております。行き届かない点が多々あると思ひますので、ご意見やご要望がございましたら遠慮なく仰ってください。

今年もよろしくお願いいたします。



館山病院 歯科口腔外科
西尾 可苗

館山病院に赴任にて5年がたちます。まだまだ、館山病院に歯科があるという知名度は低いながらも、やっと患者数も伸びてきたところですが、以下の項目を掲げます。

- ・口腔ケアの充実：各病棟、必要な患者様に口腔ケアを介入する。
 - ・全身麻酔のオペ開始：入院症例を増やす。
 - ・訪問診療の開始：施設などで訪問診療を行い、通院できない方の歯科治療や肺炎予防のための口腔ケアを開始できればと考えています。ここもマンパワーが欲しいところです。
- 今まで以上の医療サービスを提供することで、より多くの方に歯科診療室の存在を知っていただき、本年も「オーラルフレイル」を予防することで健康寿命を延ばす啓発活動を続けていきたいと思ひます。



館山病院 内科
関 紀夫

新年明けましておめでとうございます。

私事になりますが、40歳代で近くや遠くが見えにくいと感じるようになり眼科に行ったところ、両目の緑内障があるとのことでした。今後も治療を続け、定年まで頑張りたいと思ひます。私たちは、日常生活において気づかぬうちに目を酷使してしまうため、皆さんも日頃より眼を大切に労わってあげてください。

本年もよろしくお願い申し上げます。





館山病院
内科・心療内科
小野 憲爾

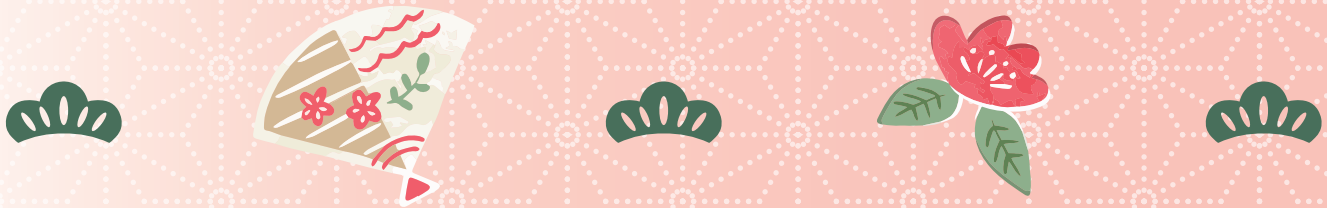
新年おめでとうございます。

昨年6月に入職し、初めての年越しを館山で迎えることができました。昨年は人生で初めて生まれ育った故郷長崎を離れ、館山で暮らすという変化を選びました。職場では新参者である私を温かく迎えていただき、新しい生活環境も概ね整いこちらでの生活を始めています。新病院に向けての準備が着々と進行している躍動的なタイミングと一緒に経験できるのは予期せぬ喜びであり、微力ながら何らかの貢献ができればと願っております。加えて、南房総の素晴らしい自然、歴史などの魅力をもっと深く探求したいと考えております。まだまだ日々知らないことが次々と生じてくる状態ですが、何卒よろしくお願い申し上げます。



館山病院 事務長
田村 秀禎

昨年は新病院建築設計、病院機能評価受審、沖縄徳洲会法人合併と台風関連災害対応もあり、私の役務最初の1年目は瞬間に過ぎてしまいました。幸いながら、皆様方のご協力により無事に運営できましたことに深く感謝を申し上げます。今年はいよいよ新病院建設予定地の地鎮祭が執り行われる着工開始の年です。工事が順調に進捗することを願うばかりとなりましたが、更なる病院機能の質向上の努力は継続しなければなりません。新しい病院というだけではなく、満足度の高い医療、介護、福祉を提供するため、向上心と希望に満ち、職員一丸となって新しい組織を作りあげ、今まで以上に地域医療に貢献できますよう、しっかりと準備をして参りたいと考えております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



タテマガ NEWS 1

病院機能評価機構による第三者評価を受審し、1回目の認定を受ける



認定の証を手に笑顔を見せる、竹内院長(左)と佐藤副院長(右)。

館山病院は、2019年9月に病院機能評価(3rdG: Ver.2.0)の審査を受審し、審査区分「一般病院1」(主として、日常生活圏域等の比較的狭い地域において地域医療を支える中小規模病院)について、認定証の交付を受けた。患者さんへの安全・サービスの向上を継続的に改善する取り組みの一環として、この「病院機能評価」の認証を利用していくが、2019年3月より、職員が一丸となって取り組んだそのプロセスこそが、職員一人ひとりの自信にも繋がった。第三者からの客観的な評価により良否が明確とされた項目の改善に取り組むスタートとなった。

*2019年9月 初回認定 (認定期間: 2019年9月6日~2024年9月5日)

*日本医療機能評価機構とは、適切で質の高い医療を安心して受けられるよう、医療機関の機能を学術的観点から中立的な立場で評価し、その結果明らかとなった問題点の改善を支援する第三者機関。

タテマガ NEWS 2

地域包括支援センターたてやま「地域づくり」イベントを開催

地域包括支援センターでは、地域づくりを目的としたつどいの開催計画を立てていたが、台風15号の影響で延期せざるを得ない状況となっていた。そんな中「介護保険の話が聞きたい」という声に後押しされ、2019年12月12日、那古船形地区学習等供用施設(若潮ホール)にて「第1回いいねたてやま」を開催した。地域の皆様、地域づくりメンバー等によるご協力のもと、那古・船形地区の住民を対象とした20名程が参加され、訪問介護・通所介護、福祉用具等の事業所より介護保険サービスの話、館山市役所の看護師による体操、防災の話も行った。「今後も開催してほしい」とのご要望をいただき、今後は北条地区での開催も目指し準備中。



当日の会場の様子。介護保険の利用について説明を行う。

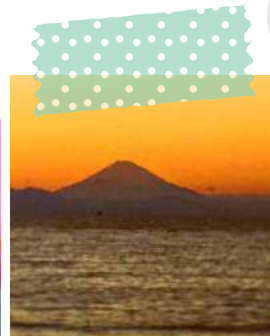
連載2

ぜいごっぺ

by.ばんぶーはうす
写道倶楽部

本年も皆様のご健勝とご多幸、発展を願ひまして新年のご挨拶とさせていただきます。今回で2回目の投稿となりますが、新年の1月号ということでお正月をテーマに撮影し、撮影者K、Kの写真を選びました。

*ばんぶーはうす(生活訓練施設)写道倶楽部が撮影する房州の海や山など“四季の便り”、“豊かな暮らし”の写真を毎月誌面にてお届けします。連載タイトルの「ぜいごっぺ」とは、房州弁で山育ちという意味です。



12月4日に園芸で植えた「お正月飾りの寄せ植え」と、北条海岸にて撮影した「富士山」。



展示作品
募集中!

～癒しの空間～
館山病院ギャラリーだより

※館山病院ギャラリーコーナーはドック・健診センター先渡し廊下

1月8日(水)～1月30日(木)

第12回 竹原書道会展

*次回の予定:2/1(土)～2/29(土)
館山の海を愛した画家たち展 NPO法人安房文化遺産フォーラム

土曜日、日曜日、祝日も開館しております
(開館時間:午前9時～午後4時30分)

【ギャラリーに関するお問合せ】
0470-22-1122(代)地域連携課まで



館山病院医療講座 【会場】:イオンタウン館山コミュニティホール 【時間】:13:30～14:30 ※開場13:00

2月22日(土) スロー筋トレで元気にエイジング

講師:館山病院 療法科 理学療法士 町田 庄司

最近では社会的にも健康の関心が高まっているように感じます。でも運動が続かない...そんな人多いのでは?今日は時短で効果を得る、継続することを一番に考えたスロートレーニングをご紹介します。皆さんで身体を動かして元気に寒い冬を乗切ろう!!

※動きやすい服装、履物、タオル、飲み物等ご自身でご持参ください。



3月28日(土) みんなでウォーキングinイオンタウン館山 講師:館山病院 療法科

※詳細については、決定次第ホームページやチラシでお知らせいたします。



医療法人 沖縄徳洲会

館山病院

事業所一覧

〒294-0037 千葉県館山市長須賀 196

Tel.0470-22-1122 (代) Fax.0470-22-2826

http://tateyama-hp.com/



館山病院公式
ホームページ

- 人間ドック・健診センター
Tel.0470-23-5030 Fax.0470-23-5034
- 歯科センター Tel.0470-25-3555
- 訪問看護ステーションたてやま
Tel.0470-24-7311 Fax.0470-24-7312
- ヘルパーステーションたてやま
Tel.0470-24-7310 Fax.0470-24-7312
- ケアプランセンターたてやま
Tel.0470-25-3477 Fax.0470-25-3488
- リハビリテーションセンター Tel.0470-22-1122(代)

- 館山市地域包括支援センターたてやま
Tel.0470-25-7191 Fax.0470-25-7192
- 指定通所リハビリテーションセンターたてやま
Tel.0470-30-8770 Fax.0470-30-8771
- ばんぶーはうす(生活訓練施設)
〒294-0038 千葉県館山市上真倉 2383
Tel.0470-22-1712 Fax.0470-22-1718
- 指定特定相談支援事業所たてやま
〒294-0038 千葉県館山市上真倉 2383
Tel.0470-22-1712 Fax.0470-22-1718